



姫路市ふるさと百年の森構想策定にあたって

姫路市は、平成18年3月に隣接する家島町、夢前町、香寺町及び安富町との合併により、地勢的には市域の57%を占める北部の広大な森林と、農地、平野及び群島からなり、地域的には都市部から農山漁村部まで様々な地域を含むこととなりました。

森林は、木材、きのこなどの生産のほか、地球温暖化の防止、環境の保全、土砂災害の防止、水資源及びエネルギー（バイオマス）の確保など市民生活の安全・安心を守る重要な役割を果たしています。さらに、日常生活では散策や眺望を楽しむことができる憩いの場として多様な恵みを与えてくれます。

しかし、森林の取り巻く環境は、木材価格の低迷や林業労働者の高齢化と減少が進むなど大変厳しい状況にあります。加えてライフスタイルの変化などから森林所有者の森林に対する意識が希薄になり、森林の境界が分からなくなっているところが増えつつあると考えられることから、益々森林の適正な管理が行われず、森林が荒廃していくことが懸念されます。

そこで、姫路市は、平成21年3月に、環境と共生し姫路市民の生命と暮らしを支え、あたたかくふれあえる元気な農林水産業の実現を目指し、「姫路市農林水産振興ビジョン」を策定しました。

姫路市ふるさと百年の森構想は、同ビジョンの基本理念を具現化することに加えて、森づくりを市民全体のことと考え、長期的な視点に立った森林・林業のあるべき姿や、姫路城の借景・背景としての山桜景観保全、スギ・ヒノキ人工林と同様に天然林・竹林の保全など姫路市の特徴を盛り込んだものとししました。

今後、この構想を実現していくためには、森林所有者、森林組合、林業事業体、企業、そして市民の皆さまの協働が欠かせません。一緒に手を取り合い私たちの豊かな森林を次代に引き継いで行きましょう。

平成24年6月

姫路市長

石見利勝

◆ 目 次 ◆

第1章 基本事項 2

- 1 背景 2
- 2 趣 旨 3
- 3 役 割 3
- 4 名 称 6
- 5 位置づけ 6
- 6 期 間 7
- 7 対象森林 7

第2章 現状及び特徴・可能性 8

- 1 森林について 8
- 2 林業について 9
- 3 担い手について 10
- 4 特徴的な森林林業施業への取組み 10
- 5 特徴・可能性 10

第3章 将来像 13

第4章 課題 17

- 1 森林に対する関心と理解（もの） 17
- 2 森づくりの担い手の育成（人） 17
- 3 森の移り変わりと水・林・木それぞれの循環との調和（かかわり） 17

第5章 森林への関わり方 19

第6章 森づくりの推進体制 20

- 1 参画と協働による森づくり 20